

スポーツツーリズムの取組の現状報告 (H29の取組についての進捗・最近の取組についての共有事項)

H29年度取組

- 一般参加型障害物レース「スパルタンレース」を2017年に日本で初めて開催し、世界50か国より約5,000人の参加があった。
- 3人制バスケットボール「3×3.EXE」を推進し、各地で大会を開催している。全国に18チームが所在し、年間12,000人が参加、350,000人が観戦。「する・観る・支える」スポーツを一緒にしたビジネスモデル。
- 多目的アリーナである「セビオアリーナ仙台」で、2017年8月までに116回のプロスポーツ興行を実施。
- スポーツイベントの開催を通じ、開催地の自治体と連携するほか、インフラの整備も行い、地域活性化の一助となっている。



現状

- 「スパルタンレース」を2017年に日本で初開催。2018年は「スパルタンレース」を3回開催予定。
【開催実績】
2017/05：相模総合補給廠（神奈川県小山市）
2017/10：さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト（神奈川県相模原市） ※2日目は台風により中止
2018/05：東京ドイツ村（千葉県袖ヶ浦市）
2018/09：宝台樹スキー場（群馬県みなかみ町）
2018/12(予定)：楽天生命パーク（宮城県仙台市）
これまでの4回の開催で世界70か国以上から約20,000人の参加があった。
- 3人制バスケットボールのプロリーグ「3×3.EXE PREMIER」は2017年の18チームから、2018年は倍の36チームが全国各地より参戦。年間で約800,000人の観戦を見込んでいる。世界初の女子カテゴリーも開幕し、成長を続けている。
- 宇都宮市にて「3×3」のクラブチーム世界一決定戦に向けた予選大会である「FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Masters 2018」を開催。同時に「FIBA 3x3 U23 Nations League」、「U12 3x3. EXE GAME in Utsunomiya」、「3x3. EXE PREMIER 女子カテゴリー」の合計4大会を同時開催し、2日間で国内外から約67,000人が訪れ、宇都宮市に457百万円の経済効果をもたらした。

※1ページに収まらない場合は本ページにも記載ください。

現状

- 「ゼビオアリーナ仙台」では2018年8月時点で30以上のプロスポーツ興行や音楽・コンサート興行などを実施。

【プロスポーツ興行】

- ▶バスケットボールB.LEAGUE、「仙台89er's」公式戦
- ▶フットサルFリーグ「ヴェスコオーレ仙台」公式戦
- ▶バドミントン国内カップ戦「TOP4 TOURNAMENT」 など

【音楽・コンサート興行】

- ▶「AKB48」握手会、「HKT」アリーナツアー
- ▶「湘南乃風」全国ツアー など

【その他イベント】

- ▶各種就職説明会、相談会
- ▶ワールドカップ、パブリックビューイング など

- 八戸市と連携し、八戸駅西口でのアリーナ構想を推進。

【特徴】

- ▶通年型アイスリンクをベースとし、移動式フロアを設置することで多様なイベント開催が可能な国内初の多目的アリーナ。
- ▶地域の学校体育と連携し、共有利用を実施することで教育への貢献が可能。
- ▶地域固有のスポーツ資産であるアイスホッケー・アイススケートを活かし、「氷都 八戸」を体現し、その魅力を国内外へ発信するシンボルとなる。